

# 「命」と「暮らし」を守る緊急経済対策

中道改革連合・立憲民主党・公明党

中道改革連合・立憲民主党・公明党の三党で行ったアンケート調査及び三党所属議員に地域で寄せられた国民の声を踏まえ、夏の暑さが本格化する前に、国民の「命」と「暮らし」を守り、事業者を「黒字倒産」などから守るための、緊急の経済対策を実施することを三党として提案する。

## 1. 個人・世帯向け支援

---

- 電気・ガス料金の引き下げ  
… 3月分で終了した措置を、夏が本格化する前に、引き下げ幅を拡大して復活
- ガソリン等の価格引き下げ  
… 現行措置の財源が、早ければ6月に枯渇することから、その前に財源を補填事態の長期化に備えた持続可能な支援のあり方も検討
- 低所得者・子育て世帯向けの現金給付  
… 特に子育て世帯について、夏休み中に出費が増えることから、その前に給付

## 2. 事業者向け支援

---

- 雇用調整助成金の要件緩和・拡充  
… 支給要件の緩和、助成率引き上げなどコロナ禍同様の特例措置を設ける
- 原油価格高騰等の影響を受ける事業者への金融支援、補助金要件の緩和  
… セーフティネット保証の拡充・政府系金融機関による実質的な緊急資金繰り支援、補助金採択要件の緩和などを実施
- 医療基盤物資を含むナフサ由来の基礎化学品の安定供給  
… 国民の命を守るための医療基盤物資の優先供給、基礎化学品の代替調達等
- 医療・介護・障がい福祉分野などへの経営支援  
… 価格転嫁ができない公定価格で事業を行う医療機関等に対する経営支援

その他、「取引Gメン」の増員による価格転嫁の推進など中小受託事業者支援、ナフサ由来農業用資材の安定供給など農林水産事業者への支援などを実施。

また、燃料・電力を含むエネルギー消費の抑制に協力いただくことを国民に呼び掛けることを検討する。省エネ機能に優れた家電製品への買換促進、断熱住宅の普及促進など省エネ施策を着実に進めるとともに、再生可能エネルギーを最大限活用するサステナブル社会への転換を一層加速していくべきである。

なお、緊急経済対策の裏付けとなる補正予算の財源は、赤字国債に依存することなく、「積み過ぎ基金」の活用や税外収入などによって確保すべきである。

## [ 参考 ] 現場の実態

以下、三党合同集会(5/15)で議員から報告のあった「現場の実態」

- 経産省の情報提供窓口では、取引先企業名の明示を求められており、事業への悪影響を懸念する事業者が実情を明かすににくい「情報の目詰まり」が起きている。
- 子どもが長時間在宅し、昼食も家で食べる夏休みに出費が増えるので、夏休み前に給付金の支給を行ってほしい。
- 完成間際に物資不足で新居の完成が遅れると、引っ越しや子どもの転校時期の再調整、現住賃貸の家賃と住宅ローンの二重払いなど多くの問題が生じる。
- 能登地震被災者の自宅再建で、資材が止まると、事業者は仕事ができず、雇用を維持できなくなり、働き手が能登から去る。一方で被災者は仮設に残らざるを得ない。
- ゴミ収集で回収用の資材が入手できない、焼却施設に必要な薬剤、潤滑油が入手できないため、ゴミ収集ができなくなる可能性がある。
- 障害福祉サービスの一つであるA型作業所(就労継続支援A型事業所)では、資材等のコストが上がっても、価格に転嫁することが難しい。
- 物価高を反映していない「介護報酬」が収入の太宗を占める介護施設では、朝食のための「早番」の人員費が確保できず、安定的な食事の提供ができない。
- 今の流通はパッケージに印刷されたバーコードやQRコードで管理されているので、資材不足でパッケージにこれらが印刷できないと流通では大きな問題が生じる。

以上